

第 560 回 沖縄大学土曜教養講座

私立大学研究ブランディング事業
沖縄の子どもの貧困、私たちの課題⑤

今なぜスクールソーシャルワークなのか —地域と学校の架け橋となるための条件—

- 【日 時】 2019 年 1 月 26 日(土) 13:30～17:15
【会 場】 沖縄大学アネックス共創館
【登壇者】 野田正人(立命館大学産業社会学部・大学院人間科学研究科教授)
赤嶺幸徳(うるま市具志川中学校校長)
比嘉春奈(恩納村教育委員会 学校教育課スクールソーシャルワーカー)
- 【聴講料】 無料
【参加人数】 98 名
【参加者内訳】 一般 83 名、地域住民 2 名、本学同窓会 3 名、
本学後援会 0 名、沖大生 4 名、学生 5 名、
本学教職員 1 名

■感想（漢字表現等は原文のまま。）

1. 日頃、支援していく中で感じている疑問点など、講和、シンポジウムにより解明できたような気がします。今回のように「スクールソーシャルワーク」を取り上げて講座を開いて下さった沖大土曜講座企画に感謝致します。SSW が今後、労働条件の改善に努め、若い人達の人材育成に貢献してもらえたらうれしいです。(60 代同窓会)
2. 児童の健全育成、最低限の権利など…子どもたちを支援する時、どうしても小学校や地域とのつながりの重要に感じます。小学校の SSW や SC の方とうまく連携がとれるよう…今後つながりやすい関係をきづいていけたらなとつくづく思いました。SSW、SC の方、学校関係者の方が今日の様な講座に多く参加し理解していけたらいいなと思いました。(30 代児童センター厚生員)
3. 我が町の SSW の配置状況をきちんと再確認しなければとドキッとした。その上で、SSW の業務分担、学校側との信頼関係は大丈夫か？行政としての支援は十分か？確認します。恩納村の比嘉さんのように、正職員化について、本町の方針・町長・教育長に急ぎ確認せねばと気付かされた。島村先生から報告があった「子どもの貧困対策支援員調査(2017 年)」の中間報告に関心があります。是非、とりまとまり次第、正式な報告書を頂きたい。(50 代議会議員)
4. SSW の動き方として、学校内、学校外で違いはあると思いますが、今回勉強になったことは、条例や法律を理解した上で動くことの重要性でし

た。学んでいきたいと思います。学校体制を整備することは、本当に課題だと思います。学校側とSSWがお互いの立場をきちんと理解しなくては効果的な支援は行えないと感じています。(40代公務員)

5. 「ニーズ」と「デマンド(要求)」の見極めは本当にむづかしい。具志川中学校の取り組みは、SSWに行きつき、配置できたところは本気の1人がいれば現状は変えられると勇気をもらいました。事例から見る早期発見は就学前からの介入が必要だと思っていた事が明らかになった。学校支援のスキルは先生との信頼関係が大事、第一歩だと思った。(60代)
6. SSWの身分、資格、仕事内容を公定の規定を作って、全学校に配置が必要であると考えております。これはお金がかかることですが、未来のための投資として必要です。給付型奨学金創設より企画性、平等性の点からより必要だと考えます。(50代会社員)
7. SSWの置かれている状況がよく理解できました。まだはじまったばかりなので、未対応、未着手している状況よく理解できました。今までは縦割りだった事、人材も不足している、早急に対応しないといけないと思いました。(60代)
8. SSWの周知になると感じました。SSWの周知がまだまだ不十分で、このような会があるとSSWも活用する側も、効果的に活用できるようになると思います。(SSW)
9. 学校をとりまく状況は年々複雑化、困難化しています。その中で、SSWの存在は益々重要になっていると感じます。比嘉SSWが指摘したように、幼小学校からの適切な関わりは重要だと思います。派遣型でもいいので、全幼小への配置を切望しているところです。(50代学校関係者)
10. 立場的に環境の整備の必要性を感じました。このような複雑な状況で、ワーカーの安定した環境を整える事によって、学校や家庭、子供達を支える事が出来る。配置型の必要性も大事ですね。また、向き合う課題の難しさにワーカーが疲弊するという事態もあるとの報告もあり、環境改善は喫緊の課題と実感。SSWの介入するタイミングや情報共有、関係者の理解等で改善への影響について実例を踏まえたので理解しやすかった。(40代議員)
11. 私は医療機関で働いていますが、「連携」する際、相手の企業文化を考えず病院としての視点ばかりでかかわることがあります。うまくいきません。SSWも学校・教育という異業種の中で専門性を発揮することが重要で、時に先生方や家族、関係機関を「どう動かすか」が大切になると感じました。「どうしましょう」ではなく「何でだろう」を大切にしていきたいと思います。ありがとうございました。(30代精神保健福祉士)

12. 大学で福祉を学んでいます。スクールソーシャルワークに興味があつて来ました。SSWについての現状、県内外の取り組みについて知ることができてとても良かったです。勉強になることが沢山ありました。ありがとうございました。(20代学生)
13. 地域で民生委員をしている者です。今日の講座は専門的なお話で初めて聞いたSVとか何の省略用語なのかわかりませんでした。最後の討論会で知りました。地域の話が出てこなかったのが残念です。地域がどう関わっていくかも少しあつても良かったのかな!SWとSSWの違い、学校側の対応の仕方も理解できて良かったと思います。SSW全学校に配置してほしいです。(60代民生委員)
14. スクールソーシャルワークの名はよく耳にしますが、活動内容がよくわからずについて学びたくて参加しましたが、内容と学校での位置がつかめにくく、重要なのに理解を広めるにはむづかしいと思いました。SSWが活動しやすい環境になって欲しいです。(60代民生児童委員)
15. 子供の問題行動・不登校と貧困の関係が、いま一つ合致がいかない。(60代会社員)
16. 学校の文化のような話がきけてよかったです。(50代公務員)
17. 現在、SSWとして学校配置されて働いています。今回の講演、討論はとても分かりやすく、自分の仕事の振り返りやヒントがたくさんありました。(30代公務員)
18. 講師それぞれの立場から実践を通じた成果と課題が分かり、多角的に理解出できました。(40代公務員)
19. シンポジウムセットの講演会で具体的な話までできたので、とても勉強になりました。学校側とSSWのセットで講演、勉強できる場に参加させていただいたことで、改めて気づかされました。野田先生、赤嶺先生、比嘉さん、島村先生ありがとうございました。(40代)
20. これまで学校側からの視点で物事を捉えていたと反省させられるいい機会になりました。また、福祉の視点、知識が足りないと感じたので、これからの課題にしようと思います。(20代学校関係者)
21. SSW概要、学校視点、SSW視点の講義で大変わかりやすかったです。ありがとうございました。特にそれぞれの取り組み、成果、課題に分け話があったので、そこから私たち自身に取り組めることも見えることができました。

ました。地域に求めることなどもあれば、知りたかったです。(20代会社員)

22. 今回のスクールソーシャルワークの話は、ソーシャルワーク in school というタイプの話が中心でしたが、地域のこどもソーシャルワーカーや要対協との連携というところについてもきいてみたいです。学校の中の文化というか、学校のやり方というのも尊重しつつ、ソーシャルワーカーのアイデンティティをしっかりと持っておく必要性を感じました。(40代公務員)
23. 登壇者の方が、それぞれの立場、視点から発表、発言されていてSSWの現状や課題などがより分かりやすく学べました。今一度、行政も学校も地域もSSWの役割をしっかりと共有していかないと強く感じた。学校でのSSW役割は良く分かったが、地域や関係機関との連携についてももう少し聞きたかった。(30代)
24. 昨夜のニュースで、教員の働き方改革について報道されていました。教員の負担軽減のために、教員の役割がかなり限定されていくとのこと。SSWが今まで遠慮してできなかったことについても、できるような体制になっていくのでしょうか。周知徹底が必要ですね。SSW制度から10年以上、経済的待遇の悪さ(雇用の不安定)は聞いていましたが、教員との関係性による環境の困難さを知り、SSWの皆さんがその中で葛藤しながら努力しているのだなと感じました。(40代団体職員)
25. やはり学校現場とSSWの認識に違いがある印象、学校側は問題のある児童をSSWに頼めば問題がなくなる、あるいは解決してくれると任せきりな印象。また、あくまでも学校は教育を教える場なので、福祉職の介入が難しい、もっとSSWの立ち位置をしっかりと定めて欲しい。早期介入の重要性は私も感じており、改めてそれを行う厳しさを学んだ。(20代沖大生)
26. 教育機関ではなく福祉施設の相談員として、今回参加しました。その中で、入所児童の通う学校連携について、学校によって対応が難しく、なかなか連携が取れないケースもあります。子どものためにSSWを間に入れて、地域を連携する仕組みを作ってほしいと思いました。(50代)
27. 野田先生のスーパーバイザーとしての経験を踏まえた専門的なお話がとても参考になりました。考えさせられた点、信頼関係がないとSSWは動けないという考えは約1割真実→SSWの直接支援の部分では真実だと思う。先生方や子ども、保護者に信頼されないと、本音の困り感、ニーズを受けとめることは難しいと感じています。間接支援としてのスクリーニング、アセスメントなどの業務については、信頼関係は要らないかなと思います。(50代)

28. 野田先生のお話しは何度きいても、勉強させられ学校のおかれた状況、そして学校が変わらなければいけない点の多くをご教示いただきました。赤嶺校長と比嘉さんの現場視点の気づきを確認させていただきました。ありがとうございました。(40代学校関係者)
29. 業務に携わる上でとても参考になる内容でした。子どもの行動により、子ども同士を切り離すことは、危険であるという文言が、とても腑におちました。過去をさかのぼることも大事だが、未来を想定することも大事であることが知れてよかったです。チャコさんのまとめすばらしかったです！ありがとうございます。(30代)
30. 学校現場でのSSWの活用の仕方など、個人情報取り扱いも含め、子どもを取りまく環境が改善されるような体制作りが整ってほしいと感じました。ありがとうございました。(50代)
31. 今回、SSWについてのシンポジウムを開催して下さいありがとうございました。今後も地域で様々な活動をしている業務を紹介して下さいとありがたいです。(50代)
32. SSWの立場、学校の立ち位置、本音を聞いて良かった。今後の関わりに生かしていきたい。(50代学校関係者)
33. 貴重なお話をありがとうございました。現場の支援活動に取り入れられる事やSSWの視点を振り返る事ができました。(50代学校関係者)
34. 4月から福祉系の大学へ編入するので、今日の講座で学校現場のことを色々知ることができて良かった。2/16にある講座も参加したい。(20代学生)
35. SSWが全面に出て動くではなく、組織的に動くこと、そのために学校・教育委員会としてどう使うのか、そこがないと苦しいと思います。またアセスメントの必要性を改めて感じました。(30代学校関係者)
36. 研究者・学校・SSW実践者と、大きく3つの視点から、SSWの在り方について学び考えることができ、意義のあるものになりました。ありがとうございます。(20代教育委員会)
37. このような講義をもっと沢山行ってほしい。一番ベースとなっている貧困の問題は県全体の問題であるので、子どもに関わる教師や福祉の人々が変わっていくべきだと思った。(30代アルバイト)
38. 悩みや問題を持つ児童・生徒やその保護者を支援するSSWには、アセス

メントとチームによる支援、関係機関との連携による支援が大切であることがおぼろげに分かりました。今後も研修を積みたいと思います。(70代以上無職)

39. 有意義な講座ありがとうございました。小学校は担任が1人で生徒を見るので、連携をするのが難しい状況が現場に居てよく分かります。中学校の生徒指導担当、教育相談担当、特別支援コーディネーター(教師の相談含む)には担当を持たせない等の配慮が必要だと思えます。すべての管理者に聞いて欲しかったなと思えました。(50代学校関係者)
40. 野田先生の目標と課題について、もう少し詳しく聴きたかった。赤嶺先生、比嘉さんの内容は実践なので苦労や連携の仕方、参考になりました。(50代学校関係者)
41. 実践事例を聞く事ができて、非常に参考になった。スクリーニングについては、SHR等に5分程度で出来るアンケート(U・Dやアセスメント)全学校で行い、課題があがって来た子どもについて、関係機関専門員と情報共有できると良いですね。貴重なお話を伺うことができ感謝です。今後のSSWの働きに期待したいと思います。学校の先生方の意識改革ができますように！(50代)
42. 野田先生、赤嶺校長、春奈さんのお話しは、とても深く中に入っていました。気づかされることも多々ありました。今後の仕事に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。(60代学校関係者)
43. 有意義なプログラムでした。全国的な観点として野田先生のお話しは、多くのことを学びました。ぜひ、このようなテーマを連続して開催して頂きたいとです。(50代公務員)
44. 今日、初めて参加して、講義では聞けない現場のリアルな声を聞けたので、参加して良かったと思えます。(20代沖大生)
45. 沖大先生方(名城先生など)の今回の関わりは？名城先生から発表もあると良かったのでは？(30代学校関係者)
46. 支援、介入の難しさを実感。個別支援、一継続支援が大切。(50代)
47. 子どもの貧困問題に関心があり、聴講しました。勉強になりました。今後もこのような企画をしてほしいです。(30代会社員)

48. SSW の役割をゼロから学べる機会になりました。(60代学校関係者)

49. 良かったです。(50代公務員)

50. SSW はこれからだと感じた。(70代以上)

51. 数年前まで、糸満で SSW をさせていただいておりました。現場での悩みとリンクして、野田先生のような方が SV でいてくださったらと思うと同時に、「自身で考える力、見立てる力」の弱さを改めて感じました。県の SSW は、給与面もキビシク、やめることにしましたが、ソーシャルワーカーとしての生き方に、もう一度向き合ってみたいと思いました。ありがとうございました。(40代)

■大学の取組等にご意見・ご要望

1. 沖縄が抱えている基地問題など平和をのぞむ若者を育成してほしいです。(60代同窓会)
2. 教職員、学校関係者の方への参加もたくさん呼びかけていただけたら…すくわれる子どもたちが増えるきっかけになれるのかなと思いました。(30代児童センター厚生員)
3. SSW に必要な法律の勉強会の機会があるとありがたいです。(40代公務員)
4. 社会の分断(格差など)が誰の目にもあきらかになってきました。有業にある情報について講座で取り上げてほしい。(キーワードとして、中間層没落、ポリティカルコレクトネス嫌い、ネトウヨ、ネトサヨ、ヘイトスピーチ、IT表者、貧困、差別言動、対性主義などなど)(50代会社員)
5. 身近な取組み講座、勉強になります。ありがとうございました。(60代)
6. SSW の SV の養成、SV が不足しており、相談やスキルアップがうまくできないので。(SSW)
7. 素晴らしい取組ありがとうございます。より多くの教員にも参加して共

有してもらいたいと思います。(50代学校関係者)

8. すばらしい事業を開催して頂いている事に感謝です。(40代議員)
9. とても勉強になりました。無料でこのような講座を開いていることはとてもすごいと思います。受講しやすい講座で、ソーシャルアクションにもつながる機会となるとと思います。ありがとうございました。(30代精神保健福祉士)
10. 学校で働く教員の方の福祉的なニーズにどんなものがあるのか開く機会があればいいなと思います。(教師の方の困り事、SSWなどにどんなことを求めるのかなど)(20代学生)
11. 2回目の土曜教養講座学ぶ事がたくさんあって楽しかったです。島村先生のコーディネートすばらしいです。次回も楽しみにしています。(60代民生委員)
12. 最後にパネルを使っただけのまとめ最高！(60代民生児童委員)
13. いろいろな取組に興味があります。今後も出席したいと思います。(60代会社員)
14. 地域学校協働活動の推進について、地域人材がうまく活かせるしくみづくりをどうつくるか。(50代公務員)
15. 大学が土曜日に一般向けに講座を行っていることを今回初めて知りました。(560回素晴らしい)(30代公務員)
16. 今後もこのようなかたちで、社会的ニーズをとりあげて一般向けに発信し続けてほしい。(40代公務員)
17. こういった講座を継続的に持っていただきたいと思います。(40代)
18. 貴重な機会を設けて下さり、ありがとうございました。(20代学校関係者)

以上